MASPRO

CATV

CATV 屋外(内)用 UHFブースター

取扱説明書

UHF BOOSTERS

伝送周波数帯域　470～770MHz
VHF（90～222MHz）ミキサー内蔵

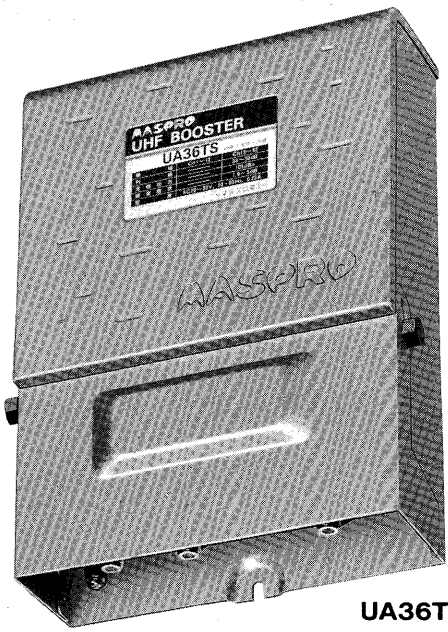
UA36S

AC100V方式

UA36TS

低電圧（AC20～30V）方式

36dB型



UA36TS

UHF電波が弱く，VHF電波が強い地域でのVU共同受信に最適な，超低雑音ブースターです。

UA36TSの適合電源部

型　式	UA36TS使用台数
WP5　（屋内用）	1台
WP2410A（屋外・内用）	
WP10　（屋内用）	2台の縦続接続
WP3015A（屋外・内用）	

MASTER OF PRODUCTION
生産の覇者

高性能，高信頼

超低雑音——雑音指数(NF)が1.9～3dBですから，弱電界地域でもスノーノイズの目立たない，きれいなテレビが見られます。

定格出力105dBμ——電波の比較的強い地域のホーム共同受信用としても使用できます。

利得調整回路——PINダイオードによる利得調整回路ですから，⊖20～⊕40℃の温度変化に対して，利得変動がほとんどなく，常に安定した動作をします。

オートスイッチング回路（実用新案登録No.1213286）——**UA36TS**は入力端子・出力端子のどちらからでも給電できます。しかも，その切り換えは「オートスイッチング回路」によって，自動的に行なわれます。

定電圧回路——**UA36TS**は供給電圧がAC 20～30Vの間で変化しても，特性の変動はありません。

使い易い機能

ヘッド・ライン両用——入力切換スイッチによって，VとU 別入力，および，VU混合入力の両方に使い分けることができますから，ヘッド(受信点)用・ライン(中継点)用のどちらでも使用できます。

VHFミキサー回路——このままでVU 共同受信に使用できるのはもちろん，VU ブースター(**WA36S** または **WA36TS**)を併用することによって，一段と効率の良い，レベルの分配ができます。

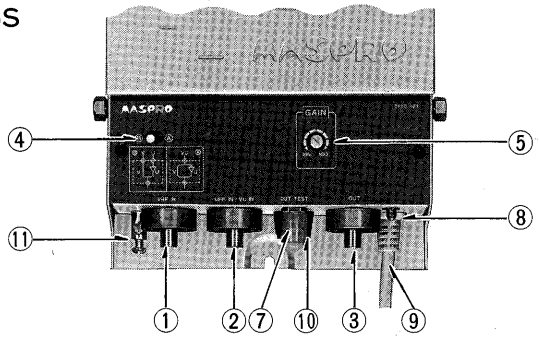
●ご使用の前に，この「取扱説明書」と「安全上のご注意」をよくお読みください。
●お読みになったあとは，いつでも見られるところに保存してください。

親切・技術の
MASPRO
＝マスプロ電工＝

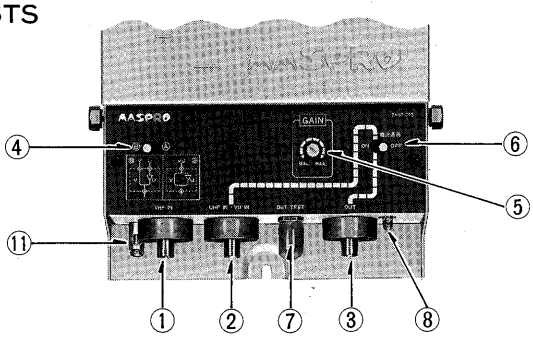
MAY, 1995

各部の名称と機能

UA36S



UA36TS



①VHF入力端子
- VとU 別入力のときのVHF入力端子です。
- UHF受信だけ，または，VU混合入力のときは使用しませんので，付属の防水キャップ(小)をかぶせてください。

②UHF・VU混合入力端子
- VとU 別入力のときのUHF入力端子です。
- VU混合入力のときの入力端子です。

③出力端子

④入力切換スイッチ
- VU混合入力のときはⒶ，VとU 別入力のときはⒷに切り換えてください。

⑤利得調整ツマミ(⊖10dB連続可変)
- 出力レベルを調整して，後段に接続するブースターまたはテレビの入力レベルを，最適値に調整してください。

⑥電流通過スイッチ(UA36TS)

⑦出力測定端子(⊖20dB)
- 使用状態のままで出力レベルが測定できます。
- 測定値に20dBを加えた値が出力レベルです。

⑧パイロットランプ

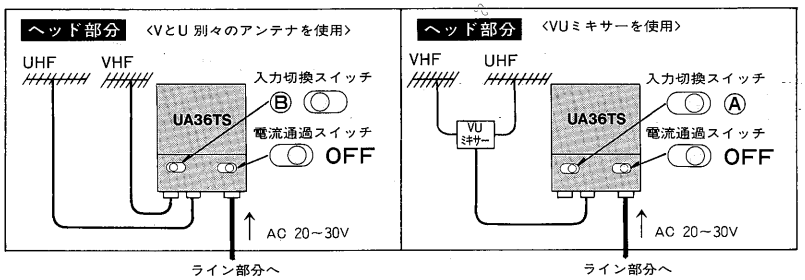
⑨AC100V電源コード(約1m)(UA36S)
- コードを延長するために，途中で切断して別のコードをつなぐことは，電気設備技術基準で禁じられています。

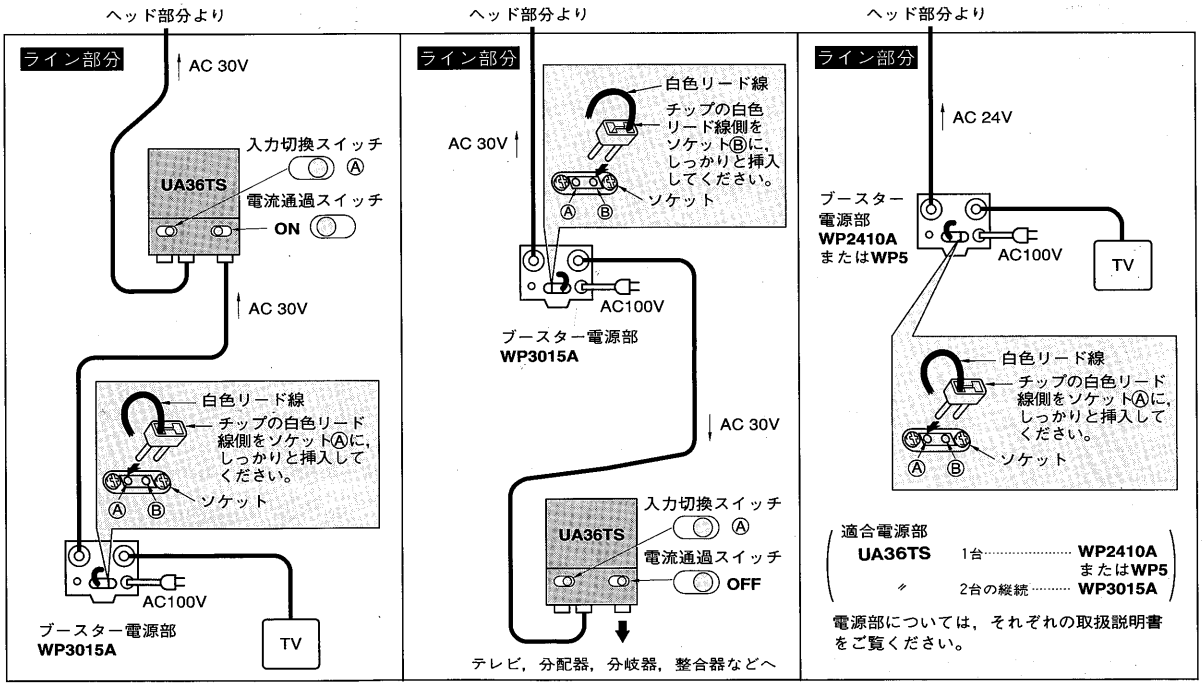
⑩ヒューズホルダー(ミゼット管型ヒューズ定格0.5A)(UA36S)
- 定格値を超えるヒューズは絶対に使用しないでください。

⑪アース端子

入力切換・電流通過スイッチの操作方法

(入力切換スイッチの操作方法は両機種とも同じです。
AC100V方式の**UA36S**は，出力端子から電源の供給はできません。)





実用入力レベルについて

２台を縦続して使用する場合は，一層の安定性を確保するため，右表の範囲で使用してください。

ブースター使用台数	最小入力(がまん限)～最大入力レベル
１台	35～70dBμ
２台縦続接続	38～67dBμ

最小入力レベル以下で使用した場合

スノーノイズ(画面に雪が降るような症状)が目立つようになり，鮮明な画像が得られません。

最大入力レベル以上で使用した場合

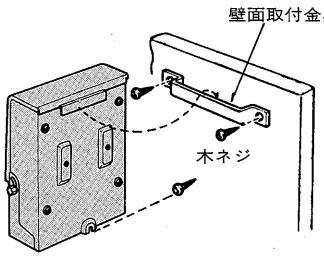
相互変調によるビート縞，混変調によるワイパー現象(画面を横に拭いていくような，太い帯模様)が発生し，見苦しい画像となります。

取付方法

⚠注意

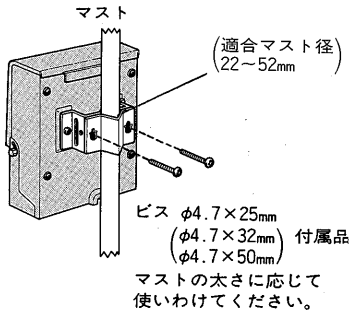
UA36Sは，マスト・支持柱には取付けられません。
電源コードに直接水がかからない場所で使用してください。

板壁面の場合



マストの場合

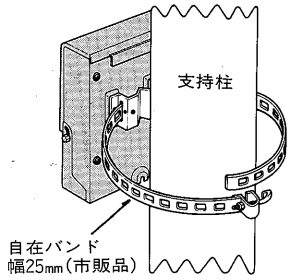
UA36TSのみ



マストの太さに応じて使いわけてください。

支持柱の場合

UA36TSのみ

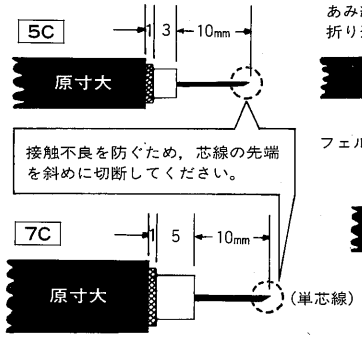


F型コネクター(プラグFP5)の取付方法

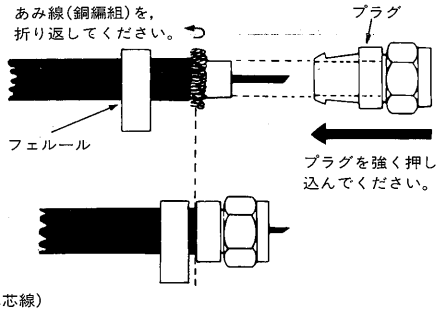
●接触不良や，ショートを防ぐため，プラグはていねいに取り付けてください。

●加工する前に，必ず防水キャップに通してください。 ●**FP7**(別売)は**7C**用です。

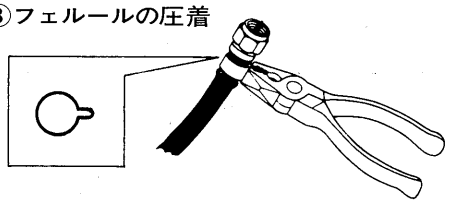
①ケーブルの加工



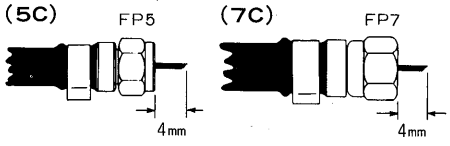
②プラグの取り付け



③フェルールの圧着



完成図 (芯線が約4mm出ます)



正しく使用していただくために

よい画質が得られないときは，次のチェックをしてください。

画像が出ない場合，または，著しくスノーノイズが出る場合

1.電　源――――規定の電圧(**UA36S**はAC 100V，**UA36TS**はAC 20～30V)が供給されていますか。
2.入・出力端子――入力と出力の引込線が逆に接続してありませんか。
VHF入力と，UHF・VU混合入力の引込線が逆に接続してありませんか。
3.入力切換・電流通過スイッチ――正しく操作してありますか。(**UA36S**は入力切換スイッチ)
4.利得調整ツマミ――利得が最大(右)へいっぱい回した状態)になっていますか。
5.引込線――断線，または，ショートしていませんか。
6.入力レベルの測定――実用入力レベルの範囲になっていますか。ブースターの入力端子からケーブルを外して，電界強度測定器で測定してください。レベルが低い場合は，アンテナの高さや設置場所を変えたり，高利得なアンテナに取り替えて，レベルを確保してください。

画面にビート縞，ワイパー現象が出る場合

1.利得調整ツマミ――症状が消えるまで，ツマミを(左)へ静かに回してください。
2.アンテナの方向――不要電波による混信がありませんか。方向を変えて画像が一番良好になるように調整してください。
3.入力レベルの測定――実用入力レベルの範囲になっていますか。レベルが高い場合は，入力端子にアッテネーター**ATT3・6・10・15・20fD**(別売)を使用して，最大入力レベル以下になるようにしてください。

以上の方法でも，トラブルが解決できない場合は，お近くの支店・営業所か，本社技術相談にお問い合わせください。

規格表 Specifications

UA36S・UA36TS共通

項目 Items ＼ 伝送周波数帯域 Frequency Range	470～770MHz (ch13～62)	90～222MHz (ch1～12)
利得 Gain	33～38dB	−
VHF通過損失 VHF Insertion Loss	−	1～2dB
利得偏差(P/V) Gain Response Flatness	4dB以内	−
利得調整範囲 Gain Control Range	⊖10dB(連続可変)	
雑音指数 Noise Figure	1.9～3dB	
実用入力レベル Operating Input Level	※35(がまん限)～70dBμ	
定格出力レベル Rated Output Level	105dBμ	
混変調／相互変調 Cross Modulation/Intermodulation	⊖40dB以下	
ハム変調 Hum Modulation	⊖50dB以下	
VSWR	1.2～3	
入力・出力インピーダンス Input/Output Impedance	75Ω(F型コネクター)	
出力測定端子結合量 Tap Value of Output Test Point	⊖20dB(F型コネクター)	
電源 Power Requirements	**UA36S**定格電圧AC100V 50・60Hz 定格消費電力4.4W **UA36TS** AC20～30V 50・60Hz 0.23A	
使用温度範囲 Temperature Range	⊖20～⊕40℃(連続100時間, 恒温槽テストによる)	
外観寸法 Dimensions	211(H)×170(W)×62(D)mm	
質量(重量) Weight	**UA36S**…約1.6kg, **UA36TS**…約1.5kg	
シンボル Symbol	−▷−	
その他 Note	定電圧回路内蔵(**UA36TS**) VHFミキサー回路内蔵	

※がまん限(最小入力レベル)は, スノーノイズを完全に除去できませんが, 実用になる限界です。

マスプロの規格表に絶対うそはありません。
ご理解と信頼あるデータにご期待ください。

付属品

F型コネクター(プラグ**FP5**)……3個
壁面取付金具……1個
予備ヒューズ(**UA36S** 定格0.5A)……1本
ビス(φ4.7×32mm, 中径マスト用)(**UA36TS**)‥2本
〃 (φ4.7×50mm, 太径マスト用)(**UA36TS**)‥2本
木ネジ(予備1本含む)……4本
防水キャップ(大)……3個
〃 (小)……1個

MASter of PROduction
生産の覇者

2K54-191

B・55-3191-4L

製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。

マルチメディア CATVの
＝マスプロ電工＝

本社 470-01 愛知県日進市浅田町
営業部 TEL名古屋(052) 802−2244
工事営業部 TEL名古屋(052) 802−2225
技術相談 TEL名古屋(052) 805−3366

支店・営業所
沖縄 (098) 854-2768
鹿児島 (0992) 26-9200
宮崎 (0985) 25-3877
熊本 (096) 381-7626
長崎 (0958) 46-6872
福岡(支) (092) 531-3861
北九州 (093) 941-4026
下関 (0832) 55-1130
徳山 (0834) 32-2954
広島 (082) 230-2351
松江 (0852) 21-5341
岡山 (086) 252-5800
松山 (0899) 73-5656
高知 (0888) 82-0991
高松 (0878) 65-3666
姫路 (0792) 34-6669
神戸 (078) 843-3200
大阪(支) (06) 632-8811
工事営業 (06) 632-1144
京都 (075) 341-0595
和歌山 (0734) 73-8867
津 (0592) 34-0261
岐阜 (058) 274-5315
名古屋(支) (052) 802-2233
工事営業 (052) 804-6262
豊橋 (0532) 33-1500
静岡 (054) 283-2220
松本 (0263) 57-4625
福井 (0776) 23-8153
金沢 (0762) 49-5301
新潟 (025) 287-3155
横浜 (045) 784-1422
渋谷(支) (03) 3409-5505
工事営業 (03) 3499-5631
秋葉原 (03) 3255-7335
葛飾 (03) 5660-4488
八王子 (0426) 37-1699
千葉 (043) 232-5335
大宮 (048) 663-8000
前橋 (0272) 63-3767
水戸 (029) 248-3870
宇都宮 (0286) 60-5008
郡山 (0249) 52-0095
仙台 (022) 237-4521
盛岡 (0196) 41-1681
秋田 (0188) 62-7523
青森 (0177) 42-4227
函館 (0138) 53-7355
札幌 (011) 782-0711
釧路 (0154) 23-8466
旭川 (0166) 25-3111
北見 (0157) 61-0480